

令和2年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる
施策の目標	区民が、趣味や教養、文化活動など、さまざまな生涯学習活動に主体的に取り組み、生きがいのある生活を送っています。また、区民の間に生涯学習の輪が広がり、自身が習得した学習成果を地域活動に活かしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「さまざまな学習活動に取り組んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					40.0%					42.0%
実績	38.1%									
指標名	「身近な場所で学習活動ができる」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.5%					60.0%
実績	52.0%									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
区立図書館は、区民や地域の課題解決を積極的に支援し、「地域の活性化を支える情報拠点」「区民の役に立つ図書館」を目標としている。	H29	529,275
	H30	540,419
	R1	556,133

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	各事務事業の必要性は高い。事業においては常に改善に取り組んでいく。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
基本的な事業は整備されてきているが、より効果的で効率的な事業運営を図っていく必要があるため。	
【今後の具体的な方針】	
利用者ニーズに沿って幅広く受け入れられるような事業内容としていき、あわせて効率的な事業運営に取り組んでいく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	図書館管理運営費	213,163	13,981	227,144	960,000	現状維持
					1,046,853	令和元年度
2	図書館事業費	166,952	16,602	183,554	960,000	現状維持
					1,046,853	令和元年度
3	資料購入費	63,277	33,204	96,481	960,000	現状維持
					1,046,853	令和元年度
4	視聴覚資料	2,350	6,990	9,340	960,000	現状維持
					1,046,853	令和元年度
5	障害者サービス事業	2,141	18,350	20,491	210	改善・見直し
					199	令和元年度
6	図書館と学校図書館の連携事業	14,459	12,233	26,692	40	現状維持
					39.1	令和元年度
7	子ども読書活動推進計画事業費	41,874	40,194	82,068	15	改善・見直し
					16.8	令和元年度
8	図書館オンライン事業	51,917	15,728	67,645	435,000	現状維持
					536,026	令和元年度

令和2年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事 業 名	図書館管理運営費		1
目 的	安全かつ適正な施設管理を行うことにより、来館者が快適かつ利用しやすい環境をつくる。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館 03-5655-2350
対 象 者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)		
根 拠 法 令 関 連 計 画	教育基本法・社会教育法・図書館法・墨田区立図書館条例等		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤7、すみだTRCグループ(指定管理館)
事 業 内 容	図書館施設の維持管理 緑図書館・立花図書館・八広図書館は指定管理者制度による施設運営		
経 過	開始年度		終了予定
	[昭和27年度] 墨田区立寺島図書館が開館(東京市立 墨田区立) [昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成 2年度] 緑図書館が緑二丁目24 - 5号に新築・開館 [平成14年度] 窓口業務に一部委託導入 [平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 [平成29年度] 緑・立花・八広各館に指定管理者制度導入		
議 会 質 問 の 状 況	特になし		
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 第25回墨田区住民意識調査(平成30年度)における「図書館」に対する満足度と重要度 ・「図書館」 満足度29.1%(1位)、重要度54.8%(3位)		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		97,497	309,419	213,105	211,182	217,453	301,676
決算額(令和2年度は見込み)		92,499	261,674	207,605	209,397	213,163	301,676
財 源	国						
	都						
	その他	37	29	26	25	27	25
一般財源		92,462	261,645	207,579	209,372	213,136	301,651
執行率(%)		94.9%	84.6%	97.4%	99.2%	98.0%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	清掃等	7,904	役務費	清掃等	7,813	役務費	清掃等	10,245
委託料	各種機器保守	170,814	委託料	各種機器保守	170,609	委託料	各種機器保守	173,724
使用料及び賃借料	駐輪場・緑空調外	4,424	使用料及び賃借料	駐輪場外	3,037	使用料及び賃借料	駐輪場外	3,054
工事請負費	維持補修	1,513	工事請負費	維持補修・立花工事	7,356	工事請負費	維持補修・緑工事	82,310
負担金補助及び交付金	管理費・光熱水費	23,278	負担金補助及び交付金	管理費・光熱水費	23,309	負担金補助及び交付金	管理費・光熱水費	31,320

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	開館日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		342	R7	目標	346	342	342	342
				実績	342	342	342	331
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	342	342	342	342	343	342
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	管理面でのトラブル等による閉館となることがないように、図書館の開館日数を選定した。また、目標値(開館日数)は、年間総数(365日)から条例に基づく休館日及び特別整理期間等を差引き342日とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	来館者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
1,020,000		R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000	
			実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
「来館者数」を指標とすることにより、図書館が生涯学習の拠点として安全かつ適正に管理運営されている施設であることが示せる。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を今後とも担えるように、施設の維持を継続する。 また指定管理館においては、引き続き図書館サービスの充実を目指す。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染症予防の新しい生活様式に対応するために、従来設置していなかった機器や増設すべき機器(館内換気用扇風機、書籍消毒機等)及びシステム(来館予約システム、館内人数把握システム)を検討する必要がある。

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる			部内優先順位
事業名	図書館事業費				2
目的	生涯学習の拠点として、有識者や教育関係者の専門的な知見の活用や区民の意見を取り入れながら、図書館サービスの向上を図るとともに、各種イベント等の実施により、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。				主管課・係（担当）
					ひきふね図書館
					03-5655-2350
対象者	来館者 (主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)				
根拠法令 関連計画	教育基本法、社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例等				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤11図書館流通センター(窓口業務)
事業内容	会計年度任用職員報酬、窓口業務委託経費、図書館運営協議会の運営、すみだ文化講座等の実施等の実施経費				
経過	開始年度		終了予定		
	[平成10年度] すみだ文化講座第1回開始～第189回開催(平成31年末現在) [平成14年度] 窓口業務の一部委託開始 [平成20年度] 全図書館を毎月第3木曜日の館内整理日及び年末年始の休日以外の日を閉館日とした。 [平成25年度] 図書館運営協議会を設置 ひきふね図書館の開設に合わせて月曜日から土曜日までの閉館時間を午後9時までとした。 [平成29年度] 緑・立花・八広の3図書館に指定管理者制度を導入				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		260,497	263,878	165,654	164,637	170,450	182,414
決算額(令和2年度は見込み)		259,542	262,919	164,914	163,603	166,952	182,414
財源	国						
	都						
	その他	1,193	1,060	1,206	1,050	1,206	1,050
一般財源		258,349	261,859	163,708	162,553	165,746	181,364
執行率(%)		99.6%	99.6%	99.6%	99.4%	97.9%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	窓口業務委託	117,207	委託料	窓口業務委託	121,696	委託料	窓口業務委託	126,000
報酬	非常勤職員報酬	33,730	報酬	非常勤職員報酬	32,872	報酬	会計年度任用職員報酬	37,991
報酬	運営協議会委員報酬	226	報酬	運営協議会委員報酬	191	報酬	運営協議会委員報酬	392
役務費	資料運搬業務委託	6,604	役務費	資料運搬業務委託	6,707	役務費	資料運搬業務委託	7,030
需用費	図書全件データの購入	3,594	需用費	図書全件データの購入	3,628	需用費	図書全件データの購入	3,660

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	イベント実施数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		300	R7	目 標	250	260	265	270
				実 績	266	465	499	388
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	275	280	285	290	295	300	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館においてさまざまなイベントを実施し参加してもらうことにより、今まで図書館を利用していなかった方にも図書館を知ってもらい、今後の利用に繋がるものとする。また、目標値については、着実にイベント数を増やしていく値とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	来館者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
1,020,000		R7	目 標	934,000	940,000	950,000	960,000	
			実 績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	934,000	940,000	950,000	960,000	1,010,000	1,020,000		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能しているとする。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「地域の活性化を支える情報拠点」、「区民に役立つ図書館」を目指すために、資料やイベント等の充実を図る。

課題・問題点
図書館を利用していない区民に対して、図書館利用につなげる取組を積極的に進める必要がある。

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	個人貸出点数(視聴覚資料除く)				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,680,000	R7	目標	1,590,000	1,600,000	1,610,000	1,620,000
				実績	1,591,987	1,711,546	1,769,969	1,717,531
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	1,630,000	1,640,000	1,650,000	1,660,000	1,670,000	1,680,000	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	資料の購入と個人貸出点数は、密接な関係にあることから指標とした。なお、最終目標値は着実に個人貸出点数を増やしていく値とした。なお、令和元(平成31)年度はシステム更新の実施に伴う休館期間あり(12月19日から1月4日まで)。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間あり(4月9日から5月31日まで)。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1,020,000		R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000	
			実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
「来館者数」が増加していくということが、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	必要な資料を幅広く揃え続けていくことで、地域の教育、教養、文化等の発展に寄与する。

課題・問題点
墨田区の人口増及び図書館へのニーズの変化に対して、図書館資料の増とともに、幅広い分野の資料の収集を図る必要がある。

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	視聴覚資料の貸出点数				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		150,000	R7	目標	150,000	150,000	150,000	150,000
				実績	150,833	147,524	140,118	132,299
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	社会生活の変化を反映して、視聴覚資料の貸出点数は年々、減少傾向にある。名盤・名作や郷土資料など収集価値のある資料や需要の見込める資料を収集していくことにより、貸出点数を維持することを目標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
1,020,000		R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000	
			実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。また、目標値については、着実に来館者数を増やしていく値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	名盤・名作や郷土資料を中心とした視聴覚資料は、区民の教養と文化の発展に資するため、引続き適切に選定・購入していく。

課題・問題点
図書館用のDVDは、著作権法上、権利者へ相当額の補償金を支払った上(販売額に上乗せ)で利用(無料貸出)の許諾を受けているため、価格が一般向けのものよりも高額である。また、一般向けに販売されている作品でも、権利者からの許諾がないために図書館で購入できない作品もある。このように図書館で購入できる視聴覚資料に限りがあるなかで、郷土資料などの収集価値が高い資料を収集・所蔵していく必要がある。

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事 業 名	障害者サービス事業		5
目 的	視覚障害者・高齢者等の図書館を利用することに困難のある区民に対し、必要なサービスを提供する。音訳等のボランティアの育成を図る。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館
			03-5655-2350
対 象 者	墨田区立図書館障害者サービス実施要綱に該当する者		
根 拠 法 令 関 連 計 画	障害者差別解消法、墨田区立図書館条例、墨田区立図書館障害者サービス実施要綱 墨田区障害者行動計画		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤3 会計年度任用職員3 すみだTRCグループ
事 業 内 容	広く区民、特に障害者等の利用に供するための事業を行う。 (1)対面朗読サービス (2)障害者用資料の貸出・製作 (3)郵送サービス (4)個人宅配サービス (5)団体貸出サービス (6)出張貸出サービス (7)出張お話し会 (8)録音図書用機材の貸出 (9)障害者サービス(マルチメディアデージー図書など)の普及活動 (10)ボランティアの育成と研修 (11)図書情報の発信 (12)「図書館利用案内(手話版)」の作成		
経 過	開始年度	昭和49年度	終了予定 未定
	[昭和49年度] 身体障害者サービス小委員会を設置し開催 [昭和51年度] 視覚障害者への市販テープの貸出開始(資料を自宅に届ける宅配の実施) [昭和52年度] 図書館の市販テープを郵送貸出開始 [昭和53年度] 朗読者養成講座を開催 [昭和55年度] 対面朗読サービスの開催 拡大写本講習会開催 [昭和56年度] 拡大写本サービス開始 [昭和63年度] 点訳者養成講座を開催 [平成2年度] 漢点字講習会の開催 [平成5年度] 出張貸出サービス開始 [平成14年度] 紙芝居、本の読み聞かせ開始 [平成18年度] デージー講習会を開催(以後毎年開催) 高齢者サービス協力者養成講座を開催(以後隔年開催) [平成23年度] 自館制作の「月刊経済情報」をテープからデージー化へ [平成26年度] 自館制作の雑誌をすべての雑誌をデージー化 [平成28年度] 児童発達支援事業所・放課後デイサービス事業所へのサービス施行開始 [平成30年度] 宅配ボランティア養成講座開始		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		
特 記 事 項			

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		2,713	2,821	2,762	2,537	2,780	2,672
決算額(令和2年度は見込み)		2,348	2,316	2,296	2,032	2,141	2,672
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,348	2,316	2,296	2,032	2,141	2,672
執行率(%)		86.5%	82.1%	83.1%	80.1%	77.0%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師等への謝礼	893	報償費	講師等への謝礼	877	報償費	講師等への謝礼	1,333
需用費	消耗品・図書の購入	759	需用費	消耗品・図書の購入	811	需用費	消耗品・図書の購入	848
委託料	外部講師委託	20	委託料	外部講師委託	0	委託料	外部講師委託	21
使用料及び賃借料	点字機器等の借上	228	使用料及び賃借料	点字機器等の借上	335	使用料及び賃借料	点字機器等の借上	429
負担金補助及び交付金	団体への年会費	41	負担金補助及び交付金	団体への年会費	41	負担金補助及び交付金	団体への年会費	41
			備品購入費	コピー機の購入	77	備品購入費	コピー機の購入	0

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	障害者個人貸出点数				単 位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		13,120	R7	目標	8,800	9,280	9,760	10,240
				実績	8,839	9,901	9,925	9,164
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	10,720	11,200	11,680	12,160	12,640	13,120	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	貸出点数は事業の円滑な運営の指標の一つとなることから選定した。また、目標値については、貸出点数を着実に増やしていく値とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	障害者サービス登録者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
510		R7	目標	180	190	200	210	
			実績	182	214	218	199	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	230	260	320	400	500	510		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
障害者サービス登録者数に応じ、事業が円滑に運営されていることを確認できる。目標値については、今までの実績及び墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）を踏まえ再設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)に基づき、図書館障害者サービスのPR及びボランティアの育成等を進め、若年の障害者の利用を促進し、より多くの障害者が図書館を利用できるようにする。

課題・問題点
利用者増を図るため、普及啓発活動の強化とボランティアの育成を図る必要がある。

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	学校図書館連携システム稼働日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないことを目標に365日とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	児童・生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数				単 位	冊
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
55/10()		R7	目標	34/6	36/8	38/9	40/10	
			実績	35.7/2.5	38.9/2.5	36.7/2.3	39.1/2.7	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		43/4	46/6	49/8	52/9	55/10	55/10	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
学校図書館における読書活動を量的に示す指標として選定した。目標値については、墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)における最終年度(令和6年度)の目標値を再設定した。(小学校の目標値/中学校の目標値)								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	小中学校の学校図書館に学校司書を配置する。図書館システムが連携していることから、ひきふね図書館から学校図書館への運営のアドバイス、統計資料等作成の支援を行っている。

課題・問題点
学校図書館システムについては、今後の更新時にソフト等の見直しを行う一方、経費の削減に努める必要がある。

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	区立図書館・図書室の延べ貸出者数(18歳以下)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		124,000	R7	目標	71,718	78,685	81,370	84,056
				実績	71,718	79,016	80,734	77,875
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	91,645	99,234	106,823	114,412	122,000	124,000
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	子ども読書活動推進計画(第4次)の数値目標のうち、18歳以下を網羅できる項目を指標として選定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	不読率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
9.0/11.0 ()		R7	目標	18/28	17/26	16/24	15/22	
			実績	16.3/23.5	15.7/23.1	17.2/24	16.8/21.6	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		14/20	13/18	12/16	11/14	9.1/11.5	9.0/11.0	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
子ども読書活動推進計画(第4次)の数値目標のうち、小5及び中2の不読率を指標として選定した。(小5の不読率/中2の不読率)								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和元年度に策定した子ども読書活動推進計画(第4次)に基づき、子ども読書活動の推進を図る。

課題・問題点
子どもに読書習慣が身につくために、読書啓発や学校・施設との連携による読書活動の更なる充実を図る必要がある。

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位			
事業名	図書館オンライン事業				8	
目的	図書館の効率的な運営、利用者の利便性を高める役割を担うことで、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。				主管課・係(担当)	
					ひきふね図書館	
					03-5655-2350	
対象者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)					
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例・施行規則 墨田区行政情報化推進計画、墨田区情報システム調達・運用ガイドライン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5	
事業内容	図書館サービス及び図書館業務をオンライン化することで、サービス向上と業務の効率化を図る。					
経過	開始年度	昭和62年度		終了予定		
	[昭和62年度] オンラインシステム導入開始 [平成17年度] インターネットによる予約サービスを開始 [平成24年度] ひきふね図書館開館に合わせ、システム更新実施、同年ICタグシステム導入 [令和元年度] システム更新(OSをWIN10に更新)					
議会質問の状況	[平成31 予特] マイナンバーカードと図書館カードの連携について					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		76,773	72,265	69,881	47,901	54,124	67,471
決算額(令和元年度は見込み)		73,290	72,813	68,818	46,311	51,917	67,480
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		73,290	72,813	68,818	46,311	51,917	67,480
執行率(%)		95.5%	100.8%	98.5%	96.7%	95.9%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	1,428	需用費	消耗品購入	1,952	需用費	消耗品購入	1,600
需用費	修繕料	76	需用費	修繕料	13	需用費	通信回線料金	2,805
役務費	通信回線料金	2,726	役務費	通信回線料金	2,788	役務費	システム保守委託	32,703
委託料	システム保守委託	39,705	委託料	システム保守委託	38,451	委託料	機器借上	30,372
使用料及び賃借料	機器借上	2,376	使用料及び賃借料	機器借上	8,713	使用料及び賃借料		

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	図書館オンライン稼働日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。 また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないため、目標に365日とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	インターネット等利用による予約受付件数				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
465,000		R7	目標	420,000	430,000	430,000	435,000	
			実績	426,957	463,896	500,871	536,026	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		440,000	445,000	450,000	455,000	460,000	465,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者が本を借りる際に、窓口・電話による予約に加えて、図書館webサイトからの予約も可能であることは、図書館サービスの向上に寄与していることから、この指標を選定した。 目標値は実績値等を参考に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館サービス及び業務のオンライン化により、効率的にかつ質の向上に努めている。

課題・問題点
安定的なシステム運用を行うために更新時にシステムの見直しを行い経費の削減に努める必要がある。